

ふくおかの経済

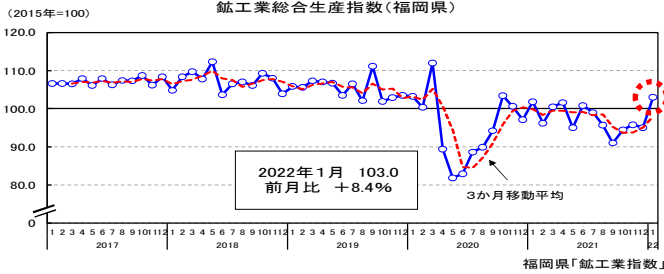
令和4年3月号



生産

持ち直しの動きがみられる。

1月の生産指数は、輸送機械工業などの低下により2か月ぶりに前月を上回りました。

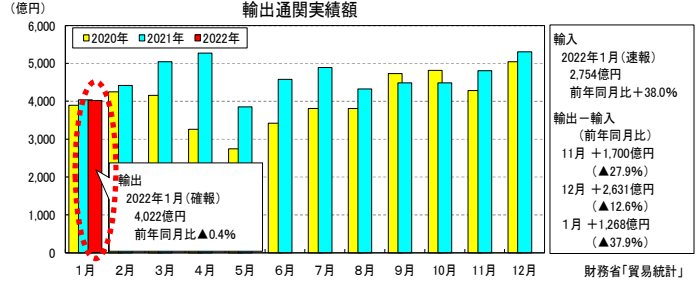


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出、輸入ともに、おおむね横ばいとなっている。

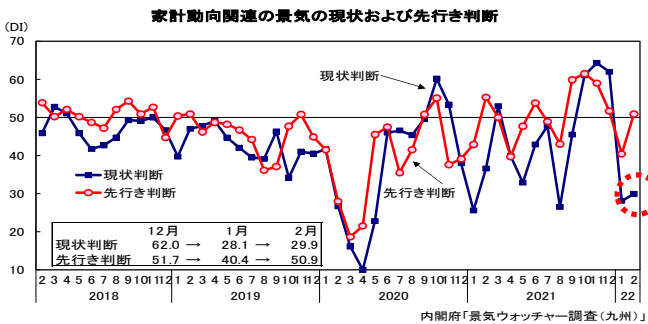
1月の輸出は、前年同月比▲0.4%と3か月ぶりに前年を下回りました。



消費

このところ持ち直しに足踏みがみられる。

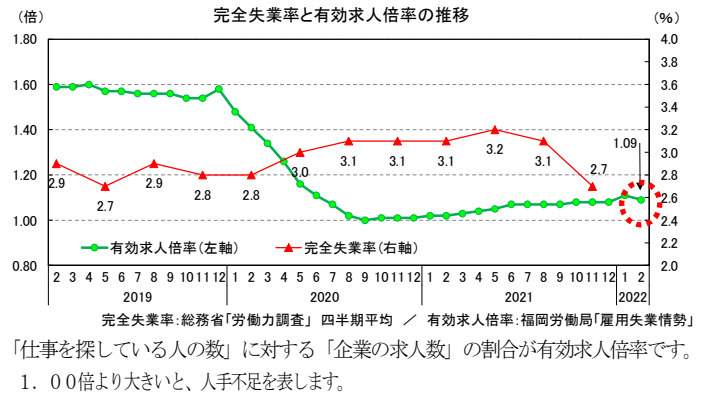
2月の景気ウォッチャー調査(九州)において、家計動向関連の現状判断は、2か月連続で好不調の目安である「50」を下回りました。



雇用

雇用情勢は、求人改善傾向は続いているものの、一部に厳しさが見られる。

2月の有効求人倍率は1.09倍で、前月から0.02ポイントの減少となりました。



「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

今月のトピック デジタル化社会実現に向けたマイナンバーカードの普及について

- 現在、国や全国の自治体では、マイナンバーカード(以下「カード」といいます。)を活用したデジタル化による行政手続きの迅速化をめざしています。そのためには、カードの普及に加えて、カード保有者が「電子証明書」機能を活用しオンライン上で申請手続きを行うことが重要になります。
- 一方で、令和4年3月時点においてカードの普及率は5割未満に留まっており、かつ、カード保有者の約4分の1が電子証明書の発行申請を行っていません(総務省調べ)。
- カードの普及が進まない理由として、カードを交付申請していない人を対象とした調査によると、「個人情報の漏洩が心配」「カードのメリットがわからない」などの理由が多く挙げられています(図1)。
- しかし、この電子証明書機能には個人情報は使用されていません(図2)。また、オンライン申請の際に求められる本人確認に電子証明書機能を利用することで、行政手続きが迅速化し、各種給付金などの申請から支払いまでの日数が短縮されるかもしれません。そうなれば、カードのメリットが実感できますね。

図1 カードの交付申請をしない理由

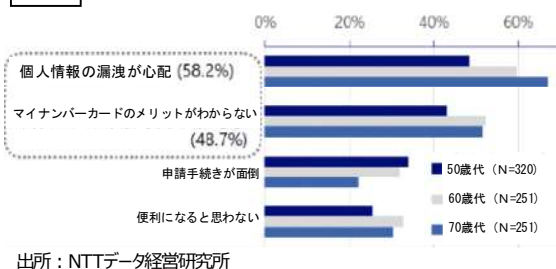


図2 セキュリティについてのポイント

- 「マイナンバー」をみられても個人情報は盗まれない
- オンラインの利用には、「マイナンバー」は使われない。

- 電子証明書機能は、ICチップ部分を使用する
- ICチップの部分には、税や年金などの個人情報は記録されない

